

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25221205	研究期間	平成 25 年度～平成 28 年度
研究課題名	組織修復・再生における間葉系細胞のダイナミズム：統合型研究	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	尾崎 博（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究は、各種間葉系細胞の組織障害時における役割、特に、臓器線維化に対する関与を追究するもので、病態時の細胞分化や収縮等の分子機構の解析を行っている。研究代表者及び研究分担者は、異なる細胞あるいは分子機構を研究対象としているが、腸筋線維芽細胞が分泌するテネイシン C が粘膜修復を促進すること、セロトニン 3 受容体拮抗薬が腸管運動機能障害を抑制すること、漢方薬が術後イレウスに対して抗炎症作用を示すことなど、これまでに幾つかの重要な進展があり、全体として概ね期待された成果を上げつつある。今後は、研究代表者らによる多面的なアプローチの研究を統合し、臓器線維症の治療も視野に入れた共同研究体制の強化が望まれる。